

洋上風力促進のための区域の選定等に関する有識者会議（第9回）

○議題

- ・ 2023年度に実施するセントラル方式による調査対象区域の選定について

○概要

<調査を実施する区域の選定について>

- 調査を実施する区域の選定について、委員から以下の意見、質問が示された。
 - ✓ 区域選定の際の考慮事項として出力規模が挙げられているが、基準となる目安はあるかとの質問があり、事務局から、①促進区域指定の際は目安があるものの、セントラル調査における対象区域については基準値を設定していないこと、②今後の議論として、セントラル調査の予算規模に比して都道府県からの情報提供件数が多い場合には、エネルギーミックス達成の観点から、出力規模の大きい区域を優先していくことを想定している旨を説明。
 - ✓ 調査仕様に関する質問があり、事務局から、セントラル方式による調査は事業者による洋上風力発電の基本設計に対応するものであるが、実際にセントラル調査の対象区域における調査仕様を作成する段階では、事業者からも広く意見を聴取するプロセスを取り入れ、現在、実証事業を通じて作成中の基本仕様をベースにしつつ、各地域の特性を踏まえた個別仕様を作成する予定であることを説明。
 - ✓ 関係漁業者をはじめ、地元での合意形成について、引き続き、丁寧に対応することが重要との意見があった。
 - ✓ 将来的に、JOGMEC によるセントラル調査の対象となることが、様々な取組における重要な要素となるのではないかとの意見があった。
 - ✓ 今回、都道府県から情報提供のあった3区域を対象にセントラル調査を進めていく方向性について異論はない。運営費交付金により執行することで柔軟な運用が可能。迅速に事業を進めて頂きたいとの意見があった。

<今後について>

- 議論の結果、セントラル方式による調査を実施する区域として、「北海道岩宇・南後志地区沖」、「北海道島牧沖」、「北海道檜山沖」の3区域を選定することについて異存ない旨を確認し、調査実施に係る今後のプロセスを進めることについて合意が得られた。